

# 事業活動収支計算書

令和6年 4月 1日から  
令和7年 3月 31日まで

学校法人 旭川宝田学園  
(単位 円)

事業活動収入の部		予 算 額	決 算 額	差 異
科 目				
<b>学生生徒等納付金</b>		( 367,660,000)	( 363,799,000)	( 3,861,000)
授 業 料		276,720,000	272,001,000	4,719,000
入 学 金		69,500,000	70,140,000	△ 640,000
維 持 費		21,440,000	21,658,000	△ 218,000
<b>手数料</b>		( 8,000,000)	( 7,981,300)	( 18,700)
入学検定料		7,970,000	7,955,000	15,000
その他手数料		30,000	26,300	3,700
<b>寄付金</b>		( 15,847,700)	( 7,188,198)	( 8,659,502)
特別寄付金		15,847,700	4,471,500	11,376,200
一般寄付金		0	2,449,000	△ 2,449,000
現物寄付		0	267,698	△ 267,698
<b>経常費等補助金</b>		( 416,236,160)	( 411,726,251)	( 4,509,909)
国庫補助金		3,610,000	0	3,610,000
道管理運営費補助金		231,406,000	231,285,000	121,000
施設型給付費		144,652,866	143,983,106	669,760
道子育て対策補助金		187,000	0	187,000
道その他補助金		11,650,000	14,185,600	△ 2,535,600
市町村補助金		9,550,000	7,092,251	2,457,749
前年度補助金		15,180,294	15,180,294	0
<b>付随事業収入</b>		( 41,380,000)	( 46,872,232)	(△ 5,492,232)
受託事業収入		700,000	651,000	49,000
補助活動事業収入		37,880,000	38,803,302	△ 923,302
収益事業収入		2,800,000	2,856,030	△ 56,030
施設等利用給付費収入		0	4,561,900	△ 4,561,900
<b>雑収入</b>		( 38,232,812)	( 47,228,775)	(△ 8,995,963)
施設設備利用料		950,000	1,037,000	△ 87,000
北海道私学退職金社団収入		5,112,000	4,104,000	1,008,000
北海道私立幼稚園退職手当資金交付収入		1,650,812	2,432,812	△ 782,000
退職給与引当金取崩額		0	6,701,400	△ 6,701,400
雑収入		520,000	253,142	266,858
その他の活動費収入		30,000,000	32,700,421	△ 2,700,421
<b>教育活動収入計</b>		( 887,356,672)	( 884,795,756)	( 2,560,916)
科 目				
<b>人件費</b>		( 563,221,312)	( 554,327,960)	( 8,893,352)
教 員 人 件 費		478,389,000	473,420,344	4,968,656
職 員 人 件 費		62,371,000	57,291,739	5,079,261
役 員 報 酬		7,900,000	7,567,765	332,235
退 職 金		14,561,312	14,335,312	226,000
退職給与引当金繰入額		0	1,712,800	△ 1,712,800
<b>経 費</b>		( 347,728,476)	( 336,632,996)	( 11,095,480)
消 耗 品 費		8,300,000	7,168,292	1,131,708
教 材 費		10,000,000	9,412,442	587,558
行 事 費		2,180,000	1,620,585	559,415
研修・研究費		730,000	286,224	443,776
光 熱 水 費		30,010,000	29,659,025	350,975
通 信 運 搬 費		20,646,000	19,854,145	791,855
印 刷 製 本 費		1,455,000	1,297,047	157,953
旅 費 交 通 費		6,515,000	5,533,015	981,985
保 健 衛 生 費		3,041,000	2,095,309	945,691
渉 外 費		248,000	108,563	139,437
諸 会 費		2,472,000	2,352,584	119,416
広 報 費		7,090,000	5,415,975	1,674,025
福 利 厚 生 費		1,488,000	1,283,653	204,347
報 酬 ・ 手 数 料		31,080,000	28,796,082	2,283,918
賃 借 料		3,072,000	2,499,342	572,658
修 繕 費		3,360,000	2,878,425	481,575
車 輛 燃 料 費		3,285,000	3,245,850	39,150
損 害 保 険 料		6,995,000	6,617,920	377,080
租 税 公 課		642,000	504,330	137,670
出 版 物 費		467,000	398,960	68,040
事業活動支出の部				

(単位 円)

		科 目	予 算 額	決 算 額	差 異
教育活動収支	事業活動支出の部	会 議 費	80,000	17,253	62,747
		ソフトウェア管理費	6,000,000	5,965,520	34,480
		生徒活動補助費	0	2,260,000	△ 2,260,000
		雑 費	198,000	71,407	126,593
		補助活動事業費	42,140,000	41,786,209	353,791
		減 価 償 却 額	62,534,476	62,563,876	△ 29,400
		奨 学 費	92,700,000	92,385,390	314,610
		国 際 交 流 費	1,000,000	538,577	461,423
		過年度補助金返還支出	0	16,996	△ 16,996
		徴収不能額等	( 0)	( 0)	( 0)
	教育活動支出計	( 910,949,788)	( 890,960,956)	( 19,988,832)	
	教育活動収支差額	(△ 23,593,116)	(△ 6,165,200)	(△ 17,427,916)	
教育活動外収支	事業活動収入の部	科 目	予 算 額	決 算 額	差 異
		受取利息・配当金	( 10,100)	( 108,031)	(△ 97,931)
		その他の受取利息・配当金	10,100	108,031	△ 97,931
		その他の教育活動外収入	( 0)	( 0)	( 0)
		教育活動外収入計	( 10,100)	( 108,031)	(△ 97,931)
	事業活動支出の部	科 目	予 算 額	決 算 額	差 異
		借入金等利息	( 550,000)	( 562,928)	(△ 12,928)
		支 払 利 息	550,000	562,928	△ 12,928
		その他の教育活動外支出	( 0)	( 0)	( 0)
		教育活動外支出計	( 550,000)	( 562,928)	(△ 12,928)
	教育活動外収支差額	(△ 539,900)	(△ 454,897)	(△ 85,003)	
	經常収支差額	(△ 24,133,016)	(△ 6,620,097)	(△ 17,512,919)	
特別収支	事業活動収入の部	科 目	予 算 額	決 算 額	差 異
		資産売却差額	( 0)	( 0)	( 0)
		その他の特別収入	( 3,610,000)	( 16,450,700)	(△ 12,840,700)
		施設設備寄付金	0	12,547,700	△ 12,547,700
		施設整備補助金	3,610,000	3,666,000	△ 56,000
		道子育て支援対策補助金(施設)	0	237,000	△ 237,000
		特別収入計	( 3,610,000)	( 16,450,700)	(△ 12,840,700)
	事業活動支出の部	科 目	予 算 額	決 算 額	差 異
		資産廃棄差額	( 0)	( 8,338,678)	(△ 8,338,678)
		土 地 処 分 差 額	0	7,500,000	△ 7,500,000
		ソフトウェア廃棄差額	0	1	△ 1
		機器備品廃棄差額	0	10	△ 10
		図書廃棄差額	0	797,862	△ 797,862
		建物廃棄差額	0	40,805	△ 40,805
		その他の特別支出	( 0)	( 0)	( 0)
特別支出計	( 0)	( 8,338,678)	(△ 8,338,678)		
	特別収支差額	( 3,610,000)	( 8,112,022)	(△ 4,502,022)	
	[予 備 費]	( 0)	( 0)	( 0)	
	基本金組入前当年度収支差額	△ 20,523,016	1,491,925	△ 22,014,941	
	基本金組入額合計	0	△ 25,991,485	25,991,485	
	当年度収支差額	(△ 20,523,016)	(△ 24,499,560)	( 3,976,544)	
	前年度繰越収支差額	0	△ 2,124,526,651	2,124,526,651	
	基本金取崩額	0	34,065,176	△ 34,065,176	
	翌年度繰越収支差額	(△ 20,523,016)	(△ 2,114,961,035)	( 2,094,438,019)	
(参考)					
	事業活動収入計	890,976,772	901,354,487	△ 10,377,715	
	事業活動支出計	911,499,788	899,862,562	11,637,226	

# 貸借対照表

令和7年 3月31日

学校法人 旭川宝田学園  
(単位 円)

資産の部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
<b>固定資産</b>	( 2,253,651,461)	( 2,311,641,180)	(△ 57,989,719)
<b>有形固定資産</b>	( 2,221,582,681)	( 2,274,526,448)	(△ 52,943,767)
土地	1,075,212,061	1,091,212,061	△ 16,000,000
建物	1,041,735,251	1,076,874,285	△ 35,139,034
構築物	20,138,034	23,395,813	△ 3,257,779
機器備品	46,562,629	44,140,908	2,421,721
図書	37,934,700	38,607,397	△ 672,697
車輛運搬具	6	295,984	△ 295,978
<b>特定資産</b>	( 31,202,400)	( 36,191,000)	(△ 4,988,600)
退職給与引当特定資産	31,202,400	36,191,000	△ 4,988,600
<b>その他の固定資産</b>	( 866,380)	( 923,732)	(△ 57,352)
保証金	50,000	50,000	0
電話加入権	566,379	566,379	0
ソフトウェア	1	57,353	△ 57,352
出資金	250,000	250,000	0
<b>流動資産</b>	( 213,875,199)	( 205,181,266)	( 8,693,933)
現金預金	201,818,846	192,458,612	9,360,234
未収入金	11,591,417	12,318,647	△ 727,230
貯蔵品	310,331	345,477	△ 35,146
前払金	65,505	58,530	6,975
立替金	89,100	0	89,100
<b>資産の部合計</b>	( 2,467,526,660)	( 2,516,822,446)	(△ 49,295,786)
負債の部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
<b>固定負債</b>	( 44,202,400)	( 54,191,000)	(△ 9,988,600)
長期借入金	13,000,000	18,000,000	△ 5,000,000
退職給与引当金	31,202,400	36,191,000	△ 4,988,600
<b>流動負債</b>	( 90,065,195)	( 130,864,306)	(△ 40,799,111)
短期借入金	30,000,000	60,000,000	△ 30,000,000
未払金	5,846,267	7,417,476	△ 1,571,209
前受金	45,137,650	55,225,700	△ 10,088,050
預り金	9,081,278	8,221,130	860,148
<b>負債の部合計</b>	( 134,267,595)	( 185,055,306)	(△ 50,787,711)
純資産の部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
<b>基本金</b>	( 4,448,220,100)	( 4,456,293,791)	(△ 8,073,691)
第1号基本金	4,381,220,100	4,389,293,791	△ 8,073,691
第4号基本金	67,000,000	67,000,000	0
<b>繰越収支差額</b>	(△ 2,114,961,035)	(△ 2,124,526,651)	( 9,565,616)
翌年度繰越収支差額	△ 2,114,961,035	△ 2,124,526,651	9,565,616
<b>純資産の部合計</b>	( 2,333,259,065)	( 2,331,767,140)	( 1,491,925)
<b>負債及び純資産の部合計</b>	( 2,467,526,660)	( 2,516,822,446)	(△ 49,295,786)

# 令和6年度

令和6年 4月 1日から  
令和7年 3月31日まで

# 財 産 目 録

学校法人 旭川宝田学園

# 財 産 目 録

令和7年 3月31日 現在

学校法人 旭川宝田学園  
(単位 円)

I 資産総額		金	5,033,686,892 円
内	1 基本財産	金	2,274,526,448 円
	2 運用財産	金	242,316,998 円
	[ 3 収益事業用財産	金	2,516,843,446 円]
II 負債総額		金	370,152,612 円
	[ 3 収益事業用負債	金	185,076,306 円]
III 正味財産		金	4,663,534,280 円

財産の状況

科 目	部 門	摘 要	金 額
[1] 資産			4,934,875,120
1 基本財産			2,221,582,681
土 地	全部門	旭川市9条通7丁目	61,382,326
		旭川市緑町14丁目	775,881,048
		旭川市9条通11丁目2191-16	92,735,800
		旭川市春光6条6丁目4-33	76,785,370
		旭川市緑ヶ丘2条2丁目	68,427,517
		計	1,075,212,061
建 物	全部門	学園本部	12,551,142
		旭川明成高等学校校舎等	693,828,157
		旭川医療秘書専門学校校舎	80,509,892
		めいほう幼稚園園舎	187,286,877
		わかば幼稚園園舎	67,559,183
		計	1,041,735,251
構 築 物	全部門	テニスコート、グラウンド等	13,336,897
		樹木等	51,182
		グラウンド、遊具	1,013,299
		グラウンド、遊具	5,736,656
		計	20,138,034
機 器 備 品	全部門		37
		教育機器等	34,392,772
		教育用機器	2,072,072
		教育用機器	4,134,961
		教育用機器	5,962,787
		計	46,562,629
図 書	全部門	教育用図書	35,959,985
		幼児用図書	487,514
		幼児用図書	1,487,201
		計	37,934,700
車 輛 運 搬 具	全部門	マイクロバス等	6
		計	6
2 運用財産			245,854,879
現 金 預 金	全部門	旭川信用金庫	50,592,949
		旭川信用金庫、郵便局貯金等	34,139,451
		旭川信用金庫、郵便局貯金	13,666,270
		旭川信用金庫、北洋銀行	68,314,001
		旭川信用金庫、北洋銀行	35,106,175
		計	201,818,846
退職給与引当特定資産	全部門	旭川信用金庫定期預金	28,602,400
		旭川信用金庫定期	2,600,000
		旭川信用金庫定期	0
		計	31,202,400
保 証 金	全部門		50,000
		計	50,000
電 話 加 入 権	全部門	51-3220, 52-2151他	471,104
		52-2750	44,975

(単位 円)

科目	部門	摘要	金額
		65-3766	50,300
		計	566,379
ソフトウェア	全部門	ICT関係	10
		計	1
出資金	全部門	旭川信用金庫	110,000
		旭川信用金庫	70,000
		旭川信用金庫	70,000
		計	250,000
未収入金	全部門	管理運営費補助金等	9,184,700
		授業料等	583,187
		補助金等	930,680
		補助金等	892,850
		計	11,591,417
貯蔵品	全部門	切手、はがき	256,603
		切手、はがき等	30,472
		切手、はがき	7,490
		切手、はがき	15,766
		計	310,331
前払金	全部門	リサイクル料	65,505
		計	65,505
<b>3 収益事業用財産</b>			<b>2,467,437,560</b>
現金預金	全部門		50,592,949
			34,139,451
			13,666,270
			68,314,001
			35,106,175
			0
		計	201,818,846
土地	全部門		61,382,326
			775,881,048
			92,735,800
			76,785,370
			68,427,517
		計	1,075,212,061
建物	全部門		12,551,142
			693,828,157
			80,509,892
			187,286,877
			67,559,183
		計	1,041,735,251
構築物	全部門		13,336,897
			51,182
			1,013,299
			5,736,656
		計	20,138,034
機器備品	全部門		37
			34,392,772
			2,072,072
			4,134,961
			5,962,787
		計	46,562,629
図書	全部門		35,959,985
			487,514
			1,487,201
		計	37,934,700
車輛運搬具	全部門		6
		計	6
退職給与引当特定資産	全部門		28,602,400
			2,600,000

(単位 円)

科目	部門	摘要	金額
			0
		計	31,202,400
保証金	全部門		50,000
		計	50,000
電話加入権	全部門		471,104
			44,975
			50,300
		計	566,379
ソフトウェア	全部門		1
			0
		計	1
出資金	全部門		110,000
			70,000
			70,000
		計	250,000
未収入金	全部門		9,184,700
			583,187
			930,680
			892,850
		計	11,591,417
貯蔵品	全部門		256,603
			30,472
			7,490
			15,766
		計	310,331
前払金	全部門		65,505
		計	65,505
<b>[2]負債</b>			<b>268,535,190</b>
<b>1 固定負債</b>			<b>44,202,400</b>
長期借入金	全部門		10,000,000
			3,000,000
		計	13,000,000
退職給与引当金	全部門	旭川信用金庫	28,602,400
		旭川信用金庫定期	2,600,000
		旭川信用金庫定期	0
		計	31,202,400
<b>2 流動負債</b>			<b>90,065,195</b>
短期借入金	全部門	旭川信用金庫	30,000,000
		計	30,000,000
未払金	全部門	共済掛金等	18,080
			4,417,336
		共済掛金等	237,345
		共済掛金等	783,246
		共済掛金等	390,260
		計	5,846,267
前受金	全部門	入学金等	24,366,750
		入学金等	20,770,900
			0
		計	45,137,650
預り金	全部門		7,993,294
			233,067
			430,705
			424,212
		計	9,081,278
<b>3 収益事業用負債</b>			<b>134,267,595</b>
長期借入金	全部門		10,000,000
			3,000,000
		計	13,000,000
退職給与引当金	全部門		28,602,400
			2,600,000

(単位 円)

科目	部門	摘要	金額
			0
		計	31,202,400
短期借入金	全部門		30,000,000
		計	30,000,000
未払金	全部門		18,080
			4,417,336
			237,345
			783,246
			390,260
		計	5,846,267
前受金	全部門		24,366,750
			20,770,900
			0
		計	45,137,650
預り金	全部門		7,993,294
			233,067
			430,705
			424,212
		計	9,081,278
<b>[3]借入財産</b>			<b>2,116,947,312</b>
土地	全部門		61,382,326
			775,881,048
			92,735,800
			76,785,370
			68,427,517
		計	1,075,212,061
建物	全部門		12,551,142
			693,828,157
			80,509,892
			187,286,877
			67,559,183
		計	1,041,735,251
<b>正味財産</b>			<b>4,666,339,930</b>

## 重要な会計方針

- 1 資産の評価基準 最終仕入原価法による原価法である。
- 2 引当金の計上基準
  - ・退職給与引当金 31,202,400円
- 3 その他の重要な会計方針
  - ・固定資産の減価償却方法は、毎会計年度定額法とする。

# 監査報告書

令和 7年 5月 14日

学校法人 旭川宝田学園

理事会 御中

評議員会 御中

監事 小科 創

監事 林 孝幸

私たちは、学校法人旭川宝田学園の令和6年度（令和6年4月1日から令和7年3月31日まで）の学校法人の業務若しくは財産の状況又は理事の業務執行の状況について監査を行い、以下のとおり報告いたします。

## 1. 監査の方法の概要

理事会その他重要な会議に出席したほか、理事等から業務執行の報告を聴取し、重要な決裁書類等を閲覧し、学校法人の業務若しくは財産の状況又は理事の業務執行の状況を調査しました。また、外部監査の結果等を参考に、計算書類等につき検討を加えました。

## 2. 監査の結果

- (1) 会計帳簿は、記載すべき事項を正しく記載し、事業報告書、資金収支計算書（人件費支出内訳表を含む。）、事業活動収支計算書、貸借対照表（固定資産明細表、借入金明細表及び基本金明細表を含む。）及び財産目録の記載と合致し、適法かつ正確に法人の収支状況及び財政状況を示していると認めます。
- (2) 学校法人の業務若しくは財産又は理事の業務執行の状況に関し不正の行為又は法令若しくは寄附行為に違反する重大な事実は認められません。

以上

# 令和6年度 学校法人旭川宝田学園本部 事業報告

## 1 学園全体の現況

少子化の状況において、各校ともよりいっそう魅力を増し、競争力をつけていくことに努力した。財政状況についても節約、合理化に努めるなど、成果が表れている。地域における存在感を高めるために、地域社会にアピールし、それぞれの学校の「ファン」が確実に増えてきていると思われる。

明成高校は吹奏楽部はじめ各部活の活躍やボランティア活動などの活動が目覚ましく、しばしば新聞、テレビで報道されたため地域の注目を集め、「明成ファン」が拡大している。このことは今後の生徒募集の好調につながると思われる。

部活とともに学力も高い生徒が入学するようになってきており、地域的により広く、学力層のより厚い生徒募集が可能になってきている。

両幼稚園はかねてからの高い評価を維持している。しかし、少子化の波に最初に直面するのは幼稚園であり、慎重に針路を模索していかなければならない。専門学校は学生数確保の努力が実を結んだ。一方で、長期的な展望も考えていかなければならない。

## 2 各校の財政状況

明成高校は教職員全体で財政の持続性確保に、より真剣に取り組んでいかなければならず、まずは給与改定問題を解決しなければならなかったが、公立高校の調整手当の行方が不透明だったため、岡田理事とも相談して1年見送ることになった。しかし、緊急の解決を要する課題であることに変わりはない。

一方で生徒数の増加（全道トップ10、旭川市で1位）は財政状況を改善しており、令和8年度の高校授業料無償化後は、その成果が財政改善を加速することが予想される。

幼稚園は財政の持続性問題に職員自ら積極的に取り組んでいるが、処遇改善との兼ね合いで複雑な舵取りが求められている。今後も慎重に対応していかなければならない

## 3 各校の運営状況

各校ともアンケートをより積極的におこなっている。変化が激しい時期である

だけに、必要なアンケートの内容を考え、結果を集積していかなければならない。さらに、その集計結果を議論、分析、共有して、次のステップに活用することが求められる。

各校とも、新聞、テレビで報道されることが多く、ホームページ以上の効果を生んでいると思われる。メディアに取り上げてもらうためには特色ある教育を行っていることが必要であるが、各校の先進的な教育が注目されている。

コロナ禍で中断していた女子商業・明成高校の同窓会の準備会が、関係者の尽力でようやく実現したが、これを土台に本格的な同窓会開催へつなげるためには、さらに努力が必要である。努力が実を結ぶ将来をめざして、さらに継続が必要である。

#### 4 本学園の教育の基本方針

- (1) 知情意をそなえた優れた人格を形成する
- (2) 魅力あふれる教育の場をつくる
- (3) 教育を通じて地域に貢献する

#### 5 理事等の人数

理事	定員	7名	現員	7名
監事	定員	2名	現員	2名
評議員	定員	15名	現員	15名

令和6年度 学校法人旭川宝田学園 旭川明成高等学校 事業報告

1 設置する学校の概要

(1) 学校の名称及び位置

- ① 名称 旭川明成高等学校
- ② 位置 旭川市緑町14丁目

(2) 修業年限 3か年

(3) 学級編成及び収容定員 (令和6年3月31日)

区分 年次	令和6年度実績			学科名
	学級数	収容定員	収容実員	
第1年次	6	206	244 (118.4%)	総合学科
第2年次	6	206	217 (105.3%)	
第3年次	4	206	139 (67.5%)	
計	16	618	600 (97.1%)	

《参考》 (令和7年5月1日)

区分 年次	令和7年度			学科名
	学級数	収容定員	収容実員	
第1年次	5	206	185 (89.8%)	総合学科
第2年次	6	206	244 (118.4%)	
第3年次	6	206	217 (105.3%)	
計	17	618	646 (104.5%)	

(4) 教職員数 ※専任講師は期限付き採用 (令和6年3月31日)

年度	職区分	校長	副校長	教頭	教諭	専任講師	養護教諭	司書	事務長	事務職員	計
R 6	専	1		3	30	10	1	1	1	6	53
	兼					11					11

《参考》 (令和7年5月1日)

年度	職区分	校長	副校長	教頭	教諭	専任講師	養護教諭	司書	事務長	事務職員	計
R 7	専	1		3	25	11	1	1	1	7	50
	兼					10					10

## 2 卒業生進路報告 【卒業生数 139名】

### (1) 進学者 112名 80.6%

国公立大学 4年制 24名 国公立短大 4名 看護系大学・専門学校 10名  
私立大学 4年制 30名 私立短大 4名 専門学校 50名

#### ・大学

【国公立】小樽商科大学 北海道教育大学（旭川校） 都留文科大学 室蘭工業大学  
北見工業大学 旭川市立大学 名寄市立大学 釧路公立大学

【私立】立教大学 明治学院大学 國學院大學 武蔵大学 関西大学 神奈川大学  
日本体育大学 桜美林大学 開智国際大学 北海学園大学 日本医療大学  
日本赤十字北海道看護大学 酪農学園大学 北海道医療大学 札幌学院大学  
北翔大学 北海道科学大学 北海道文教大学 星槎道都大学 ZEN 大学

#### ・短大

【国公立】旭川市立大学短期大学部

【私立】札幌国際大学短期大学部 北海道武蔵大学短期大学部 國學院大学北海道短期大学部

#### ・専門学校

深川市立高等看護学院 北都保健福祉専門学校 北海道医学技術専門学校  
カナディアン・スポーツビジネスアカデミー（カナダ留学）  
渋谷ファッション&アート専門学校 ミス・パリ・ビューティー専門学校  
日本航空大学校 北海道新千歳空港キャンパス 札幌青葉鍼灸柔整専門学校  
北海道美容専門学校 日本工学院北海道専門学校 札幌医療リハビリ専門学校  
北海道エコ・動物専門学校 オホーツク社会福祉専門学校  
札幌観光プライダル・製菓専門学校 札幌ミュージック&ダンス・放送専門学校  
札幌スポーツ&メディカル専門学校 札幌プライダル&ホテル観光専門学校  
札幌ミュージック&エンターテイメント専門学校 札幌ビューティーアート専門学校  
青山デザイン・医療事務専門学校 札幌デザイン&テクノロジー専門学校  
札幌ファッションデザイン専門学校 DOREME 旭川医療秘書専門学校  
総合学園ヒューマンアカデミー専門学校 旭川福祉専門学校 旭川調理師専門学校  
旭川歯科学院専門学校 旭川理容美容専門学校 旭川大学情報ビジネス専門学校

### (2) 就職者 26名 18.7%

大阪府警 北海道警察 自衛隊（航空、陸上） 稚内信用金庫 ネットトヨタ旭川(株)  
(株)ホンダカーズ旭川 (株)小賀坂スキー製作所 イオン北海道(株) 旭川ガス管工事(株)  
新谷建設(株) ルートインジャパン(株) (宗法)北海道神宮 北海道通信特機(株)  
(株)デンコードー (株)セレモニーホール (株)KSP・EAST 札幌支社 KDDIプリシード  
社会福祉法人鷹栖共生会 ANAP（イオンモール旭川西店）(株)ティーダ

### (3) 進路実績の状況

一昨年開校以来初めて国公立大学3年連続2桁を達成し、昨年度はさらに更新し、4年連続2桁を達成し、今年度5年連続国公立大学2桁を達成した。4年制の合格者24名と開校以来最多を更新し、国公立短大も含めた国公立大学合格者は28名となり、過去最多となった。今年度の卒業生が139名と少ない中での快挙達成である。さらに看護系の大学、専門学校合格者も10名と2桁

合格、立教大学など難関私立大学への合格もあり、大きな成果を上げた。  
また、就職についても就職希望者100%の就職実績へと結びつけることができた。

#### (4) 要因について

##### ① 指導の充実

未来タイムでの講習やTLFによる継続的・組織的な指導、「進路指導計画」に基づいた全校的な支援システムが功を奏したものとする。特に総合型・学校推薦型選抜に対応するための小論文指導、プレゼン指導、面接指導の研修を積み重ね、教師個々のスキルアップによる指導の充実が大きい。さらに、一般受験対策として、未来タイムの時間に各種講習を組み入れ、継続的な指導を可能にしたことやTLFにより、放課後の英語のリーディング、自学自習体制の構築、計画的・意図的な講習の設定なども効果的であった。さらに探究活動での取組が大学入試の総合型選抜などでのプレゼンテーション、志望理由書への記載など、大学合格へと結び付けた生徒も数多い。何よりも10月から11月下旬にかけて毎週土日に行われる面接合宿、小論文指導、講習など、教員の熱意の賜である。

##### ② ハード面の充実

本校は全道でも有数の指定校推薦枠を有しており、大学との連携、パイプ作りも熱心に取り組んでいる。一昨年、産業能率大学と高大連携を結び、昨年度、桜美林大学と高大連携を結び、探究活動の方法知を直接生徒に授業を通して教授していただくと共に教師力向上を目的とした研修にも取り組んできたことが成果に結びついたものとする。

### 3 経営事業の計画

- (1) 12年目を迎えるICT教育については、教職員のスキルアップと授業力向上に向けて研修を積み重ねている。小中学校でのICT教育が本格的に実施されて4年が経過し、本校でのICT教育も目新しさが薄れているが、他の高校（特に公立高校）との取り組み状況の差が浮き彫りになってきており、今後もICT教育の先駆者としての自負の元、他の高校との差別化を図りながら、現状に満足することなく、研鑽に努めていきたい。
- (2) 国際交流については、昨年度、オーストラリアのバララット高校との中期交換留学（3ヶ月間）が本校から1名、バララット高校から1名が実施し、短期交換留学はバララットから20名を受け入れ、今年度短期留学を本校から派遣する予定でいる。また、ここ数年、韓国から本校を訪問する中高生との交流を開催し、昨年度は双方の高校生約100名が交流活動に参加し、異文化を学ぶ貴重な体験となっている。
- (3) 発達障害の診断を受けている生徒、様相を有する生徒が増加傾向にある。そのため、特別支援教育の理解と対応力の備えは必須である。そこで昨年度も、道外研修で得た特別支援教育の還元研修を実施した。ただ、発達障害と言っても十人十色である。目の前の生徒から得た知識を教職員で共有し、特別支援教育の充実に努めたい。
- (4) 「未来タイム」や産業社会と人間、総合的な学習の時間などにおける独創的で自主的な探究活動が明成高校の教育活動の目玉となりつつある。特に昨年度の「未来タイム」では65のプロジェクトの中には生徒自ら立ち上げた24のプロジェクトが含まれており、中でも「子ども食堂の開店」「冬まつりでの雪像づくりや地域食材を使ったスープ対決」「ユネスコ創造都市会議」「旭川ミライサミット」「高齢者交流」「食ベマルシェへの出店」「ラーメン甲子園の出店」「旭川市、JTBとコラボしての教育旅行の誘致」「旭川市SOS活動」などの取組がメテ

ィアに広く取り上げられ、地域からの認知度も高く期待感も大きい。この取組は大学入試の総合型選抜などでのプレゼンテーション、志望理由書への記載など、大学合格への決め手となっている部分も大きく、戦略的に推進していきたい。さらに、明成高校の面接時に、本校受験の理由として、未来タイムをあげる生徒が増えており、中学生の期待感も大きい。今年度は成果と課題を分析し、継続性、簡便性を配慮し改善を重ねていきたい。

#### 4 施設設備等（改修・活用）の計画について

- (1) 昨年度、2階から4階までのトイレの洋式化の改修工事を行った。今年度は1階のトイレの洋式化の改修工事、1階ロビー・3階ロビー・体育館ステージLED化（水銀灯交換）、4階屋上テラス塗装爆裂部全面修繕、クラブハウス下段サイディング張替工事を行う。
- (2) 一昨年度、昨年度と旭川市立中央中学校の1年生全員が総合的な学習の時間を活用して、本校を訪れ、探究活動、ICT教育に触れる機会を設定した。この流れを広げていきたい。
- (3) 野球部使用のビニールハウス（屋内練習場）を硬式のシニアチームや社会人チーム、女子野球チームに定期的に開放している。女子野球チームからは今年度2名の生徒が女子硬式野球部に入部した。

#### 5 志願者の状況

定員206名のところ、令和5年度入学者数は230名、令和6年度入学者数は251名と大幅な定員増となり、補助金減額のこともあり定員厳守の命題の元、昨年度は専願者の最低学習点を従来よりも2ランク上げた結果、185名の入学生となった。これにより、学力上位層（A～Fランクの生徒数）が入学者の70%近くとなり、4年前の25%増加となった。この要因は次の4項目が考えられる。

- (1) 学校評価の生徒アンケートの次の項目の肯定的意見は次のとおりである。
  - ①明成高校に入学してよかった91.1%（2年連続90%超）
  - ②学校生活は楽しい90.8%（2年連続90%超）いずれの項目も5年前と比較すると20%以上上昇している。このことから明成高校の生徒満足度の高さが志望校決定の一つの鍵になったこと。
- (2) ハイパーQU（学級満足度や学校生活意欲アンケート）から生徒と教師の関係を問う設問（信頼できる先生がいる、気軽に相談できる先生がいる。担任の先生との関係は良い、先生の前で自分らしく振る舞える）これらの項目の肯定的評価が全国平均と比較して15%から40%近く高い。この傾向は3年連続で続いている。このことが中学校に浸透してきていること。
- (3) 未来タイム等の教育活動が広く浸透し、明成高校の教育活動への期待感が膨らんだこと。
- (4) TLFの導入により、一般受験対応の全校的な支援システムの構築により、特進コースがなくとも一般受験への不安が薄らいできていること。
- (5) 昨年度の段階で、国公立大学合格者が5年連続2桁になったこと、特に開校以来初めて国公立大学4年制の現役合格者が20名を越えとなったことが中学校側から高く評価されたこと。
- (6) アンサンブル全国大会木管八重奏で金賞（採点結果日本1）日本ジュニアコンクール、ファゴット高校生の部で今井賢太郎さんが金賞（金賞は1名：結果日本1）さらに昨年度の高体連旭川支部大会で団体出場9種目中、7種目でベスト4以上という活躍があり、部活動勧誘を通して、成績上位者が本校を希望してくれたこと。

# 令和6年度 学校法人旭川宝田学園 めいほう幼稚園 事業報告

## 1. 学級編成・園児数及び教職員

理事長：五十嵐敦子    園長：山本 健太    主任：高井 彩子    事務職員：松村 志保

学 年	クラス名	職 種	教諭名 (勤務年数 R6.4月)	園児数 (5/1)	園児数 (3/19)	学年計
3 歳児	あさがお	担 任	小関 早苗 (10)	17 (内 満3歳0)	18 (内 満3歳4)	37 満3歳
		副担任	村尾 仁美			
		臨 時	土田 由衣			
	すずらん	担 任	濱 志織 (6)	17 (内 満3歳1)	19 (内 満3歳3)	
		臨 時	泉 香織			
		臨 時	川口 真知子			
4 歳児	う め	担 任	渡部 紋加 (12)	17	17	34
		臨 時	中下 恵美			
	さくら	担 任	川崎 麻世 (11)	16	17	
		臨 時	佐藤 まり恵 11/2 退職			
		臨 時	佐藤 優香 11/1 入職			
	5 歳児	ゆ り	担 任	枝園 のぞみ (11)	27	
副担任			石動 侑里香 (8)			
臨 時			相澤 里奈			
フリー		臨 時	横川 由恵 11/1-1/31			
育児休暇			石動 侑里香 4/11 まで			
				計 94	計 97	計 97

### 【職員数 (3/31)】

園 長	主 任	教 諭	支援児 パート教諭	事務職員	預かり保育担当教諭	用務
1	1	6 (内2名 3/31 退職)	7	1	4	1

### 【園児数の推移 (各月 1日)】

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間平均 園児数	卒園児	途中 転出	3月末 転出
93	94	93	95	95	96	96	96	95	96	97	97	95 (R5 98)	26	4	3

※令和6年度    入園者総数 27名 (R5 31名)

※令和7年度    持ち上がり在籍数 (3月末) 68名 (R5 : 74名)

## 2. 令和6年度の主な行事

4月 7日 (日)            入園式・進級式・始業式  
5月 8日 (水)            屋内温水プール開き

6月22日(土)	運動会
7月5日(金)～6日	お泊り会(年長)
7月11日(木)	めいほう夏祭り
<del>7月23日(火)</del>	<del>旭岳 散策コースへの園外保育(年長)</del> ※雨天中止
11月2日(土)	お遊戯会(3部制)
1月27日～2月1日	雪上サッカー大会
3月20日(木)	第54回修了証書授与式

### 3. 子育て支援に対する幼稚園経営

#### (1) 預かり保育

- ① 保育時間帯 通常 午前7時30分～始業まで ・ 保育時間終了～午後6時30分まで  
長期休業中 午前7時30分～午後6時30分  
※振替休日も上記と同様の時間実施
- ② 実施日
- |          |      |
|----------|------|
| 年間実施日総数  | 239日 |
| 通常保育実施日数 | 201日 |
| 長期休業実施日数 | 38日  |
- ③ 利用者数
- |         |        |
|---------|--------|
| 延べ人数    | 6,716人 |
| 1日の平均人数 | 32.4人  |
- ④ 預かり保育料無償化対象者数(保護者の就労、産前産後等) 53名

#### (2) 未就園開放事業(カンガルークラブ)

- ① 年間実施回数 20回
- ② 令和6年度登録者数 36名(内9名がR6・R7年度に入園)
- ③ 平均参加者数 5組

#### (3) 親子教室「はなちゃんクラブ」

- ① 実施日 年間21回
- ② 対象児 就園前の1歳～2歳
- ③ 保育料 1回 200円
- ④ 登録者数 20名(内R6・R7年度入園者7名 継続(R7入園予定)6名)

### 4. 施設設備事業

- ・保育室、プール、玄関 見守りカメラ設置
- ・職員室電話機、インターホン
- ・職員室前絵本棚

### 5. 備品・教材購入

- ・プール用パーテーション
- ・Bluetoothスピーカー
- ・スポーツバルーン
- ・セフティマット(遊戯室)
- ・水鉄砲、じょうろセット
- ・図鑑セット
- ・タイムレコーダー

### 6. 学校評価の実施

自己評価及び保護者アンケート調査の実施(別紙参照)

# 令和6年度 学校法人旭川宝田学園 わかば幼稚園 事業報告

## 1. 学級編成・園児数及び教職員

理事長 五十嵐 敦子      園長 土井 沙織      主任 高田 実希子      事務長 齊藤 宜之

学 年	クラス名	職 種	教諭名（勤務年数 R6.4月）	園児数（5/1）	園児数（3月）	学年計
3 歳児	たんぼぼ	担 任	大橋 亜郁 (7)	14	17	34
		臨 時	遠田 亜弥	(内 満3歳 1)	(内 満3歳 4)	
	ちゅうりっぷ	担 任	富樫 朋美 (9)	13	17	
		臨 時	菅野 瑞絵	(内 満3歳 1)	(内 満3歳 4)	
4 歳児	あさがお	担 任	尾崎 花菜 (9)	23	24	24
		臨 時	菅野 麻奈美			
		臨 時	三浦 愛美			
5 歳児	ひまわり	担 任	後藤 優介 (7)	31	30	30
		副担任	高橋 実紗 (12)			
		臨 時	藤田 友里江			
				計 81	計 88	計 88

### 【職員数】

園 長	主 任	教 諭	支援児/パート教諭	事務職員	預かり保育担当教諭
1	1	5	5	1	6

### 【園児数の推移】

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間平均園児数	卒園児	途中転出	3月末転出
79	81	81	81	83	85	86	86	86	86	87	88	84	30	2	2

※令和6年度 入園者総数 27名

※令和7年度 持ち上がり在籍数 (3月末) 56名

## 2. 令和6年度の主な行事

- 4月 6日 (土) 令和6年度入園進級式
- 5月14日 (火) 春の親子遠足 (常磐公園)
- 6月16日 (日) はだしの運動会
- 7月30日 (火) 年長組忠別川川遊び (年少中組は雨による増水のため中止)
- 9月13日 (金) 年長組旭岳登山
- 11月 2日 (土) お遊戯会 (3部制)
- 1月19日 (日) 冬の参観日
- 3月20日 (日) 第49回修了証書授与式

### 3. 子育て支援に対する幼稚園経営

#### (1) 預かり保育

- ① 保育時間帯 通常 午前7時30分～始業まで ・ 保育時間終了～午後6時30分まで  
長期休業中 午前7時30分～午後6時30分  
※振替休日も上記と同様の時間実施
- ② 実施日 年間実施日総数 241日  
通常保育実施日数 173日  
長期休業実施日数 36日
- ③ 利用者数 延べ人数 7,307人  
1日の平均人数 30.3人
- ④ 預かり保育料無償化対象者数（保護者の就労、産前産後等） 46名

#### (2) 未就園開放事業（ぽかぽからんど）

- ① 年間実施回数 20回  
② 令和6年度登録者数 68名  
③ 平均参加者数 12組

#### (3) 親子教室「ぽかぽかくらぶ」

- ① 実施日 年間30回  
② 対象児 就園前の1歳～2歳  
③ 保育料 1回 300円  
④ 登録者数 22名 内入園者 6名 継続6名 転勤等 10名

### 4. 施設設備事業

- ・エアコン設置(6台)
- ・新園舎2階ストーブ取り換え
- ・調理室給湯器取り換え
- ・グラウンド物置取り換え

### 5. 備品・教材購入

- ・園用スマートフォン12台
- ・作品用乾燥棚

### 6. 学校評価の実施

自己評価及び保護者アンケート調査の実施（別紙参照）

# 令和6年度 学校法人旭川宝田学園 旭川医療秘書専門学校 事業報告

## 1 設置する学校の概要

### (1) 学校の名称及び位置

- ① 名称 旭川医療秘書専門学校
- ② 位置 旭川市9条通11丁目左3号

### (2) 設置する学科等 医療秘書科（商業実務 専門課程 昼間 2年課程）

### (3) 入学定員、学生数（令和6年度）

学年	学 科	定 員	在籍数 (R6/4)	在籍数 (R7/3)	離籍率
1年	医療秘書科	40	21	21	0.00%
2年	医療秘書科	40	31	31	0.00%
合 計		80	52	52	0.00%

### (4) 進路状況（令和6年度卒業生） （令和7年3月末日時点）

学 科	就職内定先					計	進路決定率
	病院等	調剤	歯科	介護	一般		
医療秘書科	18	9	1	0	3	31	100.0

- ・令和5年度卒業生 医療秘書科 31名 ⇒ 決定31名（100.0%）
- ・令和4年度卒業生 医療秘書科 18名 ⇒ 決定18名（100.0%）
- ・令和3年度卒業生 医療秘書科 18名 ⇒ 決定18名（100.0%）

### (4) 教職員数（令和6年年度）

校 長	教 頭	教 諭	事務職	時間講師	合 計
1	1	2	1	※5	10

※明成高校からのALT教員1名含む

## 2 令和6年度 入学生21名の出身校内訳

旭川明成5名 旭川龍谷3名 旭川農業3名 旭川志峯2名 旭川実業1名  
 旭川南1名 旭川藤星1名 東川1名 苫前商業1名 富良野1名 津別1名  
 延渡邊大学（中国） 1名

## 3 令和6年度 就職内定先 卒業生31名【希望者内定率100%】

### (1) 主な就職内定先

医療法人三愛会 お肌のクリニック 株式会社サンクール あしたば薬局日赤前店  
 医療法人社団圭泉会 旭川圭泉会病院 札幌臨床検査センター株式会社（ノルデン薬局）

株式会社 ケイエムエス（くにもと病院） たくま歯科医院  
医療法人社団真佑会旭川消化器肛門クリニック 株式会社アインファーマシーズ（アイン薬局）  
医療法人社団 shindo 旭川リハビリテーション病院 医療法人溪仁会 手稲溪仁会病院  
株式会社そえる 一条調剤薬局 もみの木アレルギー科こども医院  
医療法人社団履信会 りしん会整形外科病院 医療法人社団 小林歯科医院  
医療法人社団 錦町おおしま耳鼻咽喉科 医療法人社団 みずうち産科婦人科  
社会医療法人北斗 末広呼吸器・内科クリニック 医療法人社団慈成会 東旭川病院  
株式会社ニチイ学館 旭川支店 株式会社なの花北海道 北海道川崎建機株式会社  
社会福祉法人 北海道療育園 株式会社メディプロDS  
医療法人美脳 札幌美しが丘脳神経外科病院 社会医療法人元生会 森山病院  
飛騨調剤薬局 株式会社クリオネクリオネ薬局 新さっぽろ店

(2) 就職内定先の職種内訳（ ）は昨年度

病 院	31% (39%)	／	医院・クリニック	23% (29%)
調剤薬局	31% (19%)	／	福祉介護施設	4% ( 7%)
一般企業	11% ( 6%)			

#### 4 令和6年度 活動報告

(1) 入学者確保

平成27年度より入学生の減少傾向が続いていたが、令和元年度の秋より入試広報に力点を置き、令和5年度からは新分掌「入試広報部」において、北北海道の高校訪問でオープンキャンパスの案内や学校PRに力点を置く。オープンキャンパスの実施回数は、年10回から13回に増やした。増やした効果はあった。

(2) 4年間合格者なしの最難関資格試験「診療報酬請求事務能力認定試験」

- ・令和5年度 6名の合格者（合格率：全国平均37.0%）
- ・令和6年度 1名の合格者（合格率：全国平均33.2%）

※今年度をもって診療報酬請求事務能力認定試験は廃止

(3) 教育の場を教室以外に設けることでの出会いと原体験

- 1 運動会実施のため体育館無償で借用（北都保健福祉専門学校）
- 2 メイクアップ講座を学生が学生に教授（旭川理容美容専門学校）
- 3 和食のテーブルマナー講座を実施（アートホテル）。洋食は例年実施
- 4 あさひかわデザインウィーク2024の連携催事「わくわくサイエンス」に参加。  
「こども薬局」が大盛況。91名の子どもが体験する。
- 5 病院や農協など、現地視察を実施（北彩都病院、北いぶき農協）
- 6 研修旅行 韓国



メイクアップ講座（旭川理容美容専門学校）



テーブルマナー（アートホテル）



わくわくサイエンス（サイバル）



院説明見学（北彩都病院）



農業協同組合説明見学（JA 北いぶき）



研修旅行（韓国）

（5）令和6年度 学生アンケート結果 肯定的評価（大いにそう思う、そう思う）

項目	令和6年度	令和5年度
本学に入学してよかった	98%	96%
学校の雰囲気はよい	98%	97%
学校生活は満足している	98%	91%
学校行事は楽しむことができた	96%	95%
学習活動はしっかり取り組んだ	96%	98%
資格取得に向けて指導に満足できた	100%	97%
必要な資格は取得することができた	94%	95%
社会につながる学びがあった	100%	95%
進路のサポートに満足できた	100%	95%
先生は親しみやすい	100%	100%

2024年度 1学年前期授業評価アンケート（9月実施）

1年生（21名）	大いにそう思う	そう思う	あまりそう思わない	そう思わない	平均値 MAX4.0
この授業は自分の将来のために必要だと思っている。	77.2%	20.9%	1.9%	0.0%	3.8
私は、授業に集中している。	63.3%	31.6%	5.1%	0.0%	3.6
私は、授業の開始前に準備して着席している。	84.2%	15.2%	0.6%	0.0%	3.8
私は、授業のルールを守っている。	79.1%	20.9%	0.0%	0.0%	3.8
私は、授業の課題、提出物などは期限を守っている。	89.9%	8.9%	1.3%	0.0%	3.9
私は、授業の予習復習をしている。	15.2%	22.8%	49.4%	12.7%	2.4
先生の授業は、内容や説明が分かりやすい。	59.5%	32.3%	8.2%	0.0%	3.5
先生の授業は、板書や説明スライド、投影が分かりやすい。	61.4%	31.6%	6.3%	0.6%	3.5

1年生(21名)	大いにそう思う	そう思う	あまりそう思わない	そう思わない	平均値 MAX4.0
先生の授業は、分からないところを丁寧に説明してくれる。	69.6%	27.2%	2.5%	0.6%	3.7
先生の授業は、発言や質問しやすい環境である。	52.5%	38.0%	8.2%	1.3%	3.4
先生の授業は、自分の実力を伸ばしてくれる。	55.7%	39.2%	5.1%	0.0%	3.5
先生の授業は、授業の風紀を乱す学生を注意してくれる。	54.4%	36.1%	4.4%	5.1%	3.4
先生の授業は、学生に対して公平に接してくれる。	83.5%	16.5%	0.0%	0.0%	3.8
				平均値	3.5

### 2024年度 2学年前期授業評価アンケート(9月実施)

2年生(31名)	大いにそう思う	そう思う	あまりそう思わない	そう思わない	平均値 MAX4.0
この授業は自分の将来のために必要だと思っている。	67.9%	29.5%	2.6%	0.0%	3.7
私は、授業に集中している。	61.1%	37.3%	1.6%	0.0%	3.6
私は、授業の開始前に準備して着席している。	72.0%	27.5%	0.5%	0.0%	3.7
私は、授業のルールを守っている。	65.8%	33.2%	1.0%	0.0%	3.6
私は、授業の課題、提出物などは期限を守っている。	78.8%	19.2%	2.1%	0.0%	3.8
私は、授業の予習復習をしている。	20.2%	29.5%	29.5%	20.7%	2.5
先生の授業は、内容や説明が分かりやすい。	68.4%	28.5%	3.1%	0.0%	3.7
先生の授業は、板書や説明スライド、投影が分かりやすい。	67.4%	28.5%	4.1%	0.0%	3.6
先生の授業は、分からないところを丁寧に説明してくれる。	75.1%	23.3%	1.6%	0.0%	3.7
先生の授業は、進むスピードが丁度よい。	68.9%	28.5%	2.6%	0.0%	3.7
先生の授業は、発言や質問しやすい環境である。	65.3%	29.5%	5.2%	0.0%	3.6
先生の授業は、自分の実力を伸ばしてくれる。	65.8%	33.7%	0.5%	0.0%	3.7
先生の授業は、授業の風紀を乱す学生を注意してくれる。	49.2%	43.0%	7.8%	0.0%	3.4
先生の授業は、学生に対して公平に接してくれる。	69.4%	29.5%	1.0%	0.0%	3.7
				平均値	3.6

### 2024年度 1学年前期授業評価アンケート(2月実施)

1年生(21名)	大いにそう思う	そう思う	あまりそう思わない	そう思わない	平均値 MAX4.0
この授業は自分の将来のために必要だと思っている。	88.6%	10.8%	0.6%	0.0%	3.8
私は、授業に集中している。	63.6%	30.1%	6.3%	0.0%	3.6
私は、授業の開始前に準備して着席している。	88.6%	11.4%	0.0%	0.0%	3.8
私は、授業のルールを守っている。	78.4%	21.6%	0.0%	0.0%	3.8
私は、授業の課題、提出物などは期限を守っている。	89.2%	6.8%	4.0%	0.0%	3.9
私は、授業の予習復習をしている。	16.5%	44.3%	38.1%	1.1%	2.4
先生の授業は、内容や説明が分かりやすい。	67.6%	31.8%	0.6%	0.0%	3.5
先生の授業は、板書や説明スライド、投影が分かりやすい。	67.0%	30.1%	2.8%	0.0%	3.5
先生の授業は、分からないところを丁寧に説明してくれる。	72.7%	26.7%	0.6%	0.0%	3.7
先生の授業は、進むスピードが丁度よい。	64.8%	32.4%	2.8%	0.0%	3.5

1年生(21名)	大いにそう思う	そう思う	あまりそう思わない	そう思わない	平均値
先生の授業は、発言や質問しやすい環境である。	63.1%	31.8%	4.0%	1.1%	3.4
先生の授業は、自分の実力を伸ばしてくれる。	72.2%	27.8%	0.0%	0.0%	3.5
先生の授業は、授業の風紀を乱す学生を注意してくれる。	60.2%	39.2%	0.6%	0.0%	3.4
先生の授業は、学生に対して公平に接してくれる。	84.7%	15.3%	0.0%	0.0%	3.8
※2学年は内定先での職場実習、勤務中				平均値	3.5

学校評価・授業評価は、概ね良好であった。肯定的評価ではない学生のサポートに重点を置いて面談等を進めてきた。誰一人取り残さないサポートを徹底してきた。

教職員と学生の関係が大変よく、信頼関係から学習効率上昇、生活充実に繋げてきた。学生のモチベーションアップが、成果が出ていると判断している。

## (6) 経営改善

令和5年度より学校をあげて、経営改善のために経費削減に徹底的に取り組む

### 過去8年間の収支差額

年 度	収支残高	在籍数(1年、2年)	退学者
平成29年度	-13,511,378	58(27、31)	1
平成30年度	-15,813,983	59(23、26)	5
平31,令和元年度	-21,167,423	57(27、20)	1
令和2年度	-12,919,895	48(22、26)	3
令和3年度	-20,523,366	40(21、19)	1
令和4年度	-18,717,305	51(31、20)	0
令和5年度	+2,352,998	63(32、31)	1
令和6年度	-1,560,811	52(21、31)	1

### 過去3年の人件費、経費の支出経緯

	R4(2022)決算	R5(2023)決算	R6(2024)決算	R4とR6の差
	51名(31+20)	63名(31+32)	52名(31+21)	
<b>人件費</b>	<b>30,902,474</b>	<b>30,813,167</b>	<b>31,405,570</b>	<b>503,096</b>
教員人件費	30,702,474	28,237,933	26,495,009	-4,207,465
職員人件費	0	2,175,234	2,269,561	2,269,561
退職金	0	0	2,241,000	2,241,000
退職給与引当金繰入	200,000	400,000	400,000	200,000
<b>経費</b>	<b>40,115,469</b>	<b>34,840,998</b>	<b>25,633,896</b>	<b>-14,481,573</b>
消耗品費	624,627	362,045	363,956	-260,671
教材費	176,927	365,160	200,032	23,105
行事費	127,470	155,793	148,602	21,132
研修・研究費	0	10,000	8,000	8,000
光熱水費	4,151,768	2,906,313	2,470,991	-1,680,777
通信運搬費	679,890	561,411	534,817	-145,073
印刷製本費	29,480	36,564	37,059	7,579

旅費交通費	260,752	1,232,734	822,028	561,276
保健衛生費	150,974	129,954	42,491	-108,483
渉外費	3,218	20,613	41,498	38,280
諸会費	270,200	222,400	225,200	-45,000
広報費	7,882,455	5,415,592	2,323,725	-5,558,730
福利厚生費	112,920	66,506	99,585	-13,335
報酬・手数料	2,617,106	2,067,667	1,635,176	-981,930
賃借料	860,628	860,628	204,204	-656,424
修繕費	115,500	0	0	-115,500
損害保険料	2,646	2,142	3,024	378
出版物費	34,200	0	0	-34,200
ソフトウェア管理費	2,192,850	0	0	-2,192,850
雑費	22,458	12,377	4,596	-17,862
減価償却額	6,311,085	5,826,964	5,751,522	-559,563
奨学費	13,488,315	14,586,135	10,717,390	-2,770,925

令和5年度より無駄な経費は全て省き、「教育の質は上げて、経費は下げる」という目標に向かって、教職員全員で取り組んだ。

結果、令和4年度と比べて

- ・教員人件費 約 420万円（時間講師に頼る気質の改善）
- ・経費 約1,450万円（1円の無駄も省く） を削減することができた。

2年前は入学者35名を必要としていましたが、今後は27名で黒字になる試算ができた。「入学者25名で黒字化」を目指したが、そこまで辿り着けなかったため、今後もより経費を削減して、健全な経営になれるよう教職員とともに進みたい。